

(第2号様式)

知 念 第 2153号
令和8年 3月 23 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立知念学校
校長 宮城 保
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月17日	場所	本校 校長室	出席 状況	4名
第2回	日時	令和7年12月18日	場所	本校 校長室	出席 状況	4名
第3回	日時	令和8年3月17日	場所	本校 校長室	出席 状況	4名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校の現状と課題に対する意見。
- ②進路指導に関する意見。
- ③生徒指導に関する意見。
- ④学校評価に関する意見。
- ⑤その他学校の教育活動に関する意見。☒

3 学校評議員の意見

- ①(生徒指導について)化粧、身なりに関しては、生徒への声かけが必要であり、「なぜ、だめなのか」の理由を示すことが必要だと思います。
- ②ダンス部が沖縄女子短期大学の学園祭で活躍していた。また、学校の取組「知高綱がるプロジェクト」でも外部から講師を招いている。地域との連携は良いことだと思います。
- ③学校説明会参加者が500名を超えている。例年、400名程度と聞いている。知念高校は「良い高校」というイメージが定着しているのではないかと。
- ④自動車事故等が心配である。自転車事故も違反の場合は罰金がある。交通法規を守る教育も必要だと思います。

4 学校運営に反映した事項

- ①(生徒指導について)生徒支援部の職員から機会ある毎に職員に説明をしてもらい、生徒への声かけや指導基準の共有を図った。
- ②総合的な探究の時間(2学年)において、外部から講師を招き、探究活動を実施しており、今後も継続したい。また、与那原町からのボランティア依頼等にも積極的に参加し、地域との連携も深めることができた。
- ③地域から「良い学校」と認識されるよう、勉学や部活動等に意欲的に取り組むことができる環境を全職員で整備してきた。
- ④全校生徒対象の「交通安全講演会」だけでなく、適宜担任を通して、特に自転車のマナーに関する注意喚起を行った。2026年4月から適用される自転車の「交通反則通告制度」についても周知した。

5 課題その他

本校は、評議員の意見にあるとおり、勉学および部活動等に意欲的に挑戦できる環境が整備されている。今後もその風潮・環境が引き継がれるよう努めていきたい。生徒指導に関しても、常に人権を意識して、統一した指導・声かけ等ができるよう取り組んでいく。また、昨年度に続き、今年度も評議員から「交通安全」に関する指摘があった。生徒の「命」に関わるものであり、学校においても引き続き、交通マナーの周知を徹底していきたい。